

EasyRemote I/O ユーザーマニュアル

EasyRemote I/O

本ユーザーマニュアルでは、EasyRemote I/O で Weintek iR-ETN を設定する方法について説明します。

UM018004J_20190409

目次

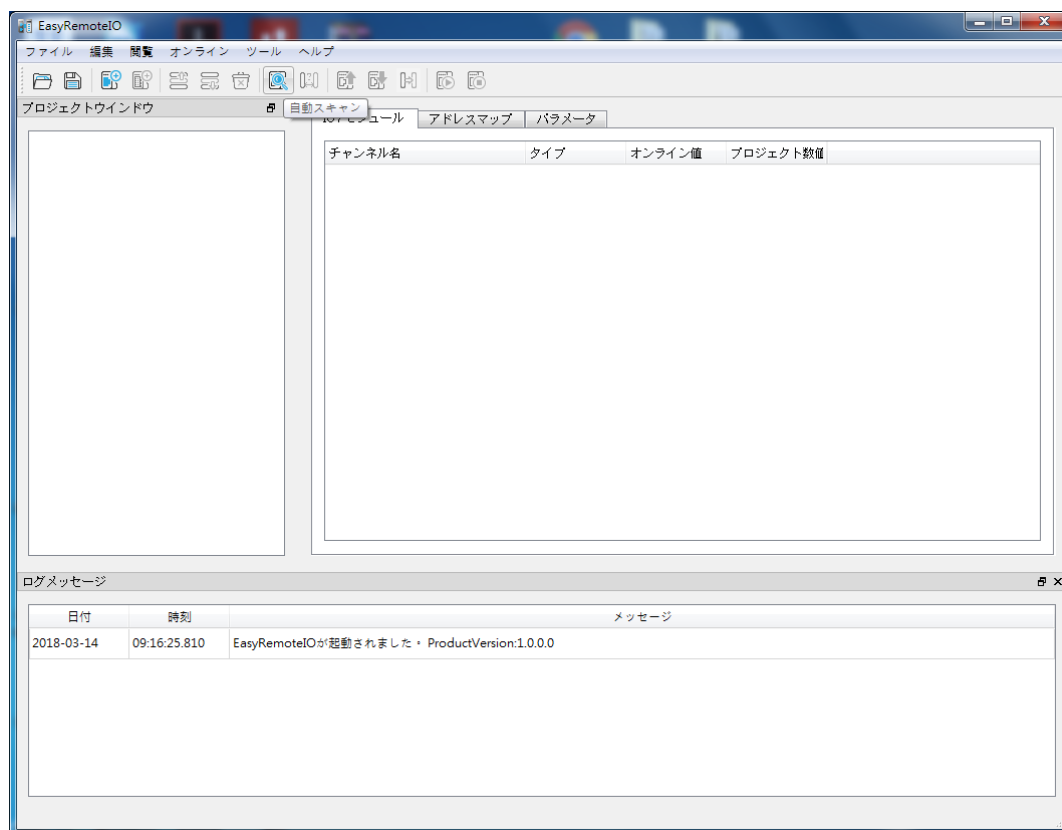
1. 概要	1
2. クイックスタート	1
3. 設定	6
編集	6
オンライン	6
ツール	8
4. アナログモジュール	9
チャンネル値の表示	9
チャンネル値の書き込み	9
チャンネルパラメータ設定	9
モジュールの初期化	10

1. 概要

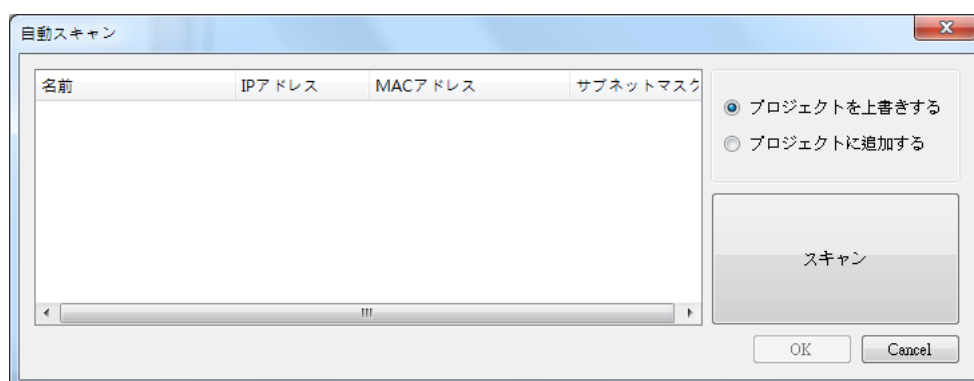
EasyRemote I/O はユーザーに Weintek iR-ETN を設定させるツールです。
EasyRemote I/O では、ユーザーは IP アドレスを及び他のパラメータを設定し、iR-ETN の数値を監視、変更することができます。

2. クイックスタート

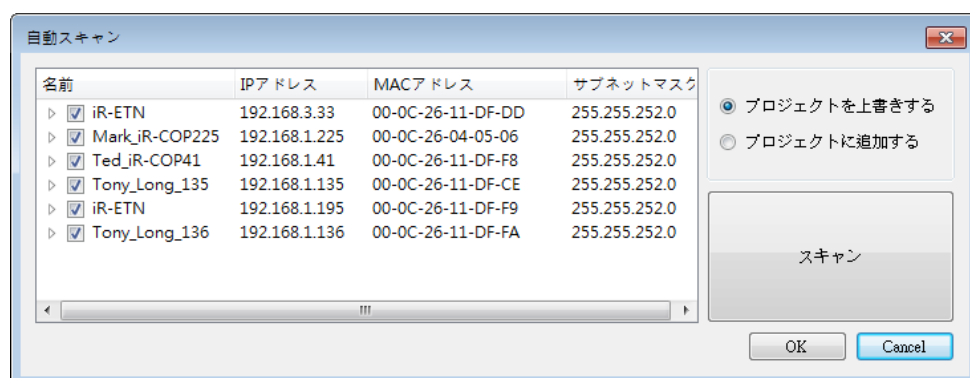
1. EasyRemote I/O をオープンし、[自動スキャン]をクリックします。



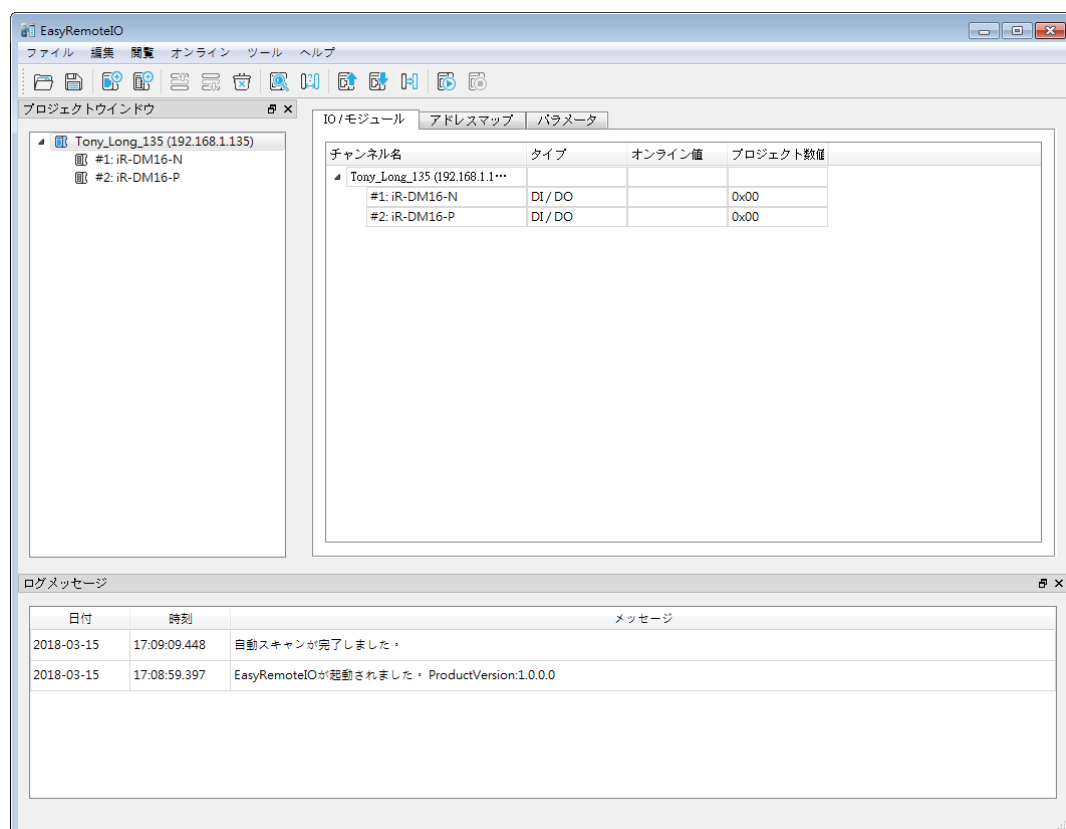
2. [プロジェクトを上書きする]をクリックしてから、[スキャン]を押します。
iR-ETN のデフォルト IP は 192.168.0.212 です。PC と iR-ETN が同一のドメイン(192.168.0.XX)にいるかを確認してください。



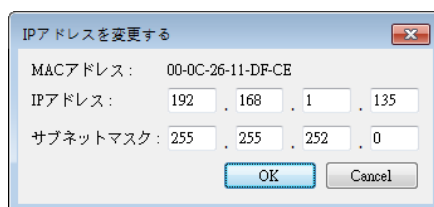
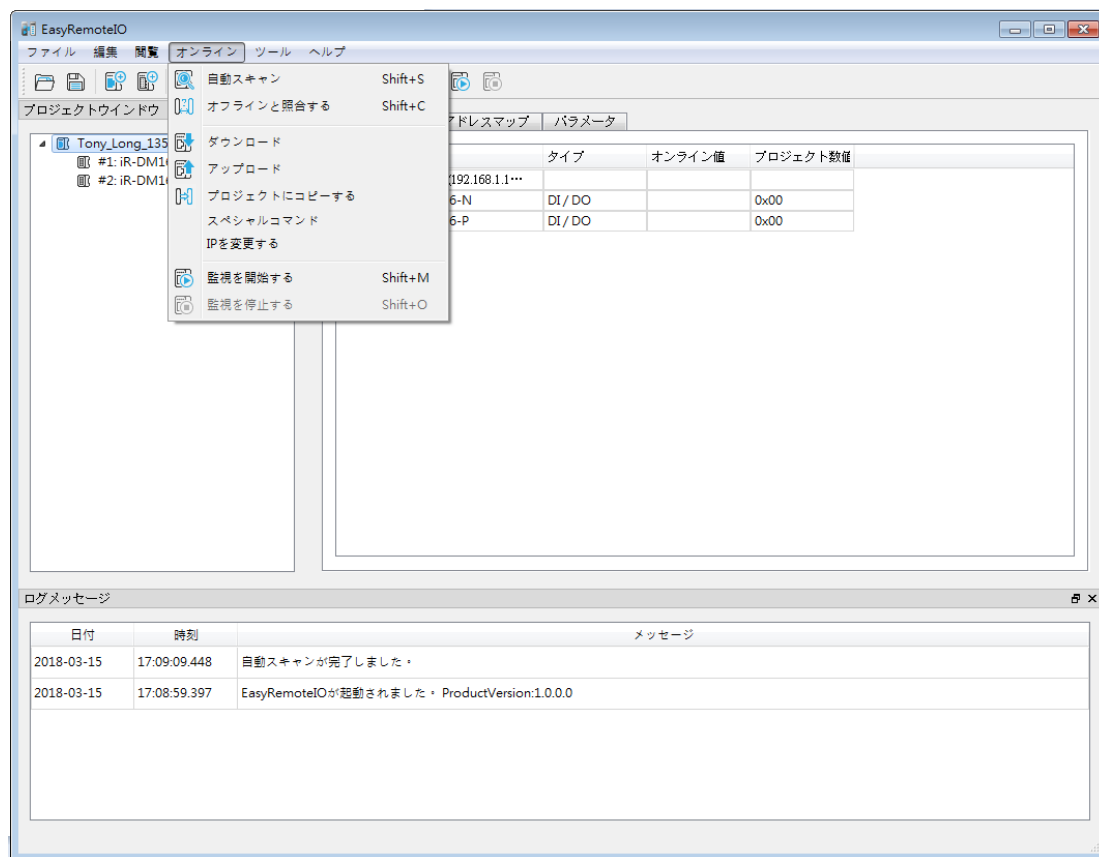
3. ドメイン内にいる iR-ETN は以下のウインドウで表示されます。設定したい iR-ETN を選択し、OK を押します。



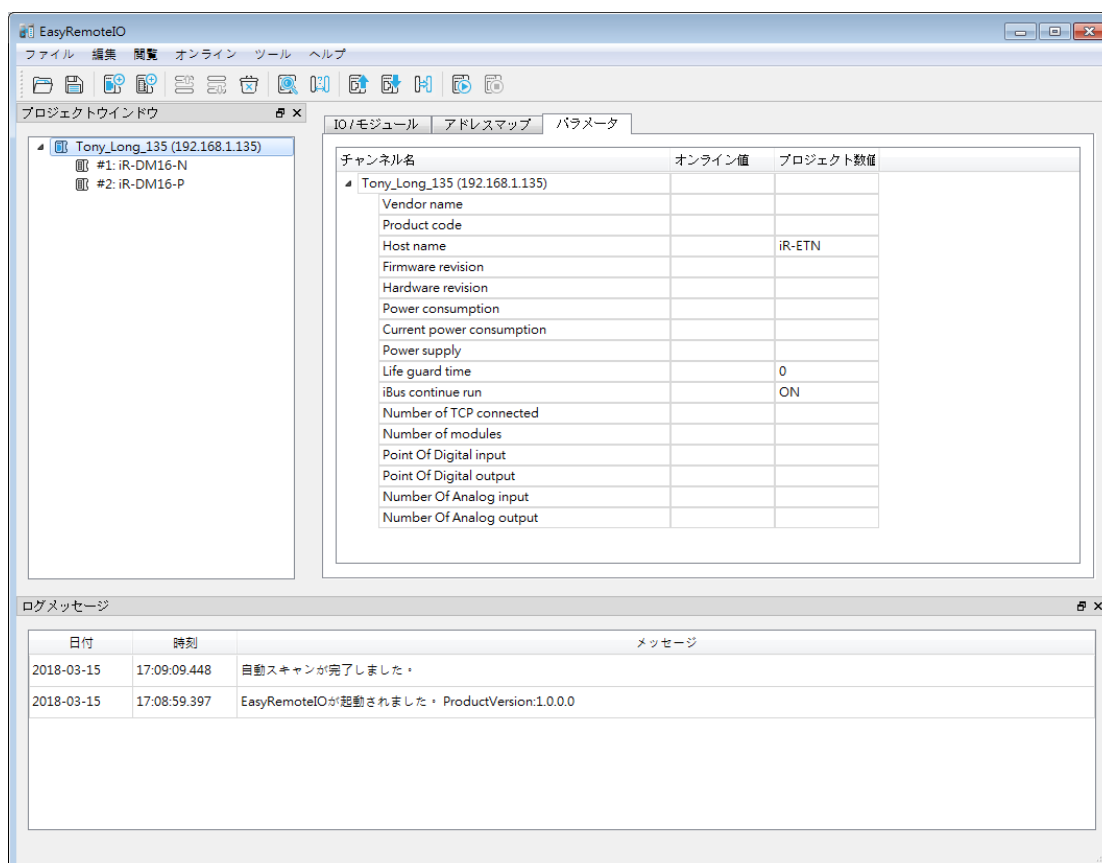
4. iR-ETN には以下のような画面が出ます。画面では iR-ETN とモジュールの情報が表示されます。



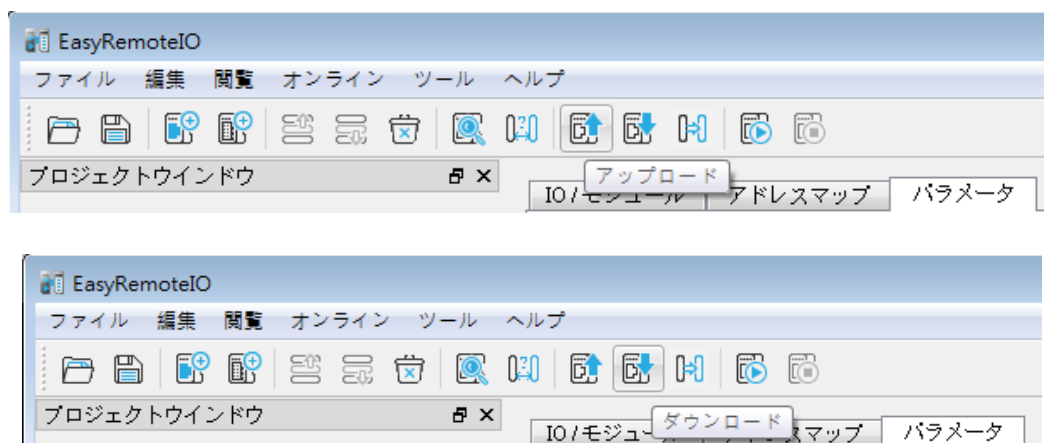
5. [オンライン] » [IP アドレスを変更する]をクリックすれば、iR-ETN の IP アドレスを設定できます。設定完了後、OK を押すと、IP アドレスが変更されます。



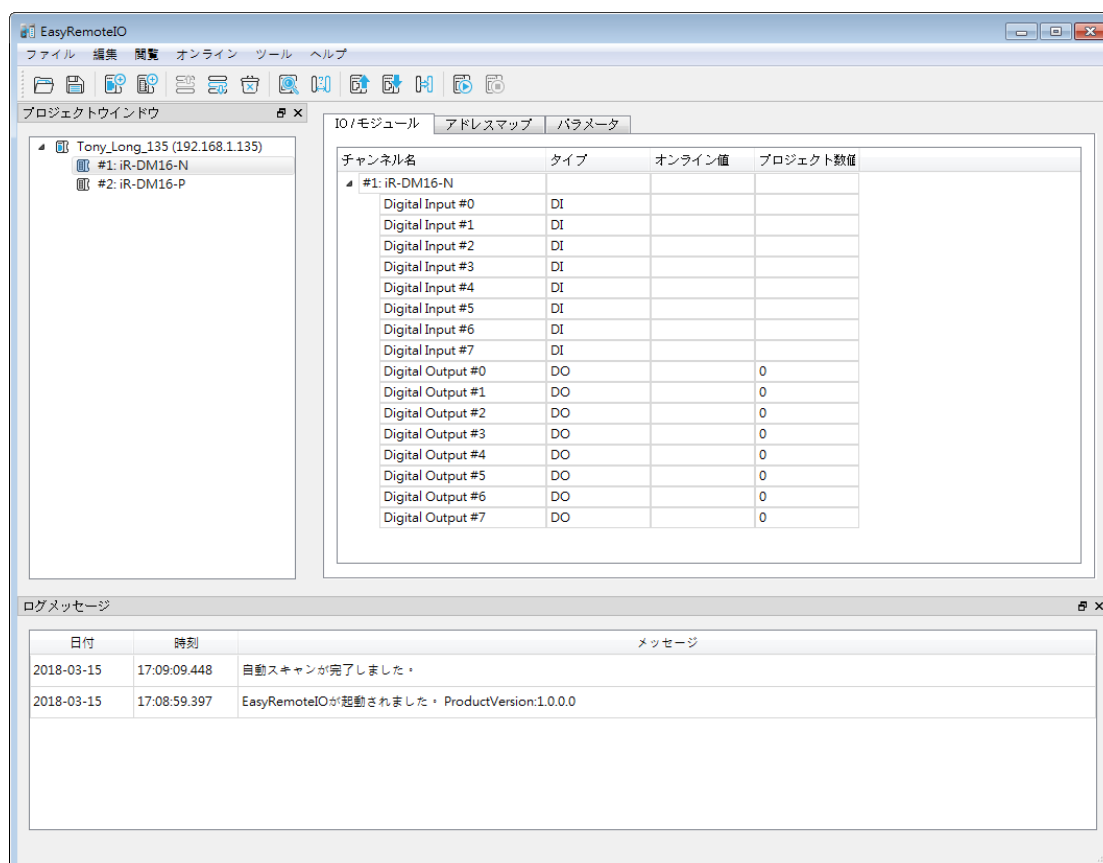
6. プロジェクトウインドウで iR-ETN を選択します。そして右側の欄で[パラメータ]タブを選択します。ここでは iR-ETN 関連のパラメータを変更できます。iR-ETN 内の実際のパラメータは[オンライン数値]欄にあり、それらのパラメータを変更したい場合、[プロジェクト数値]欄で修正する必要があります。



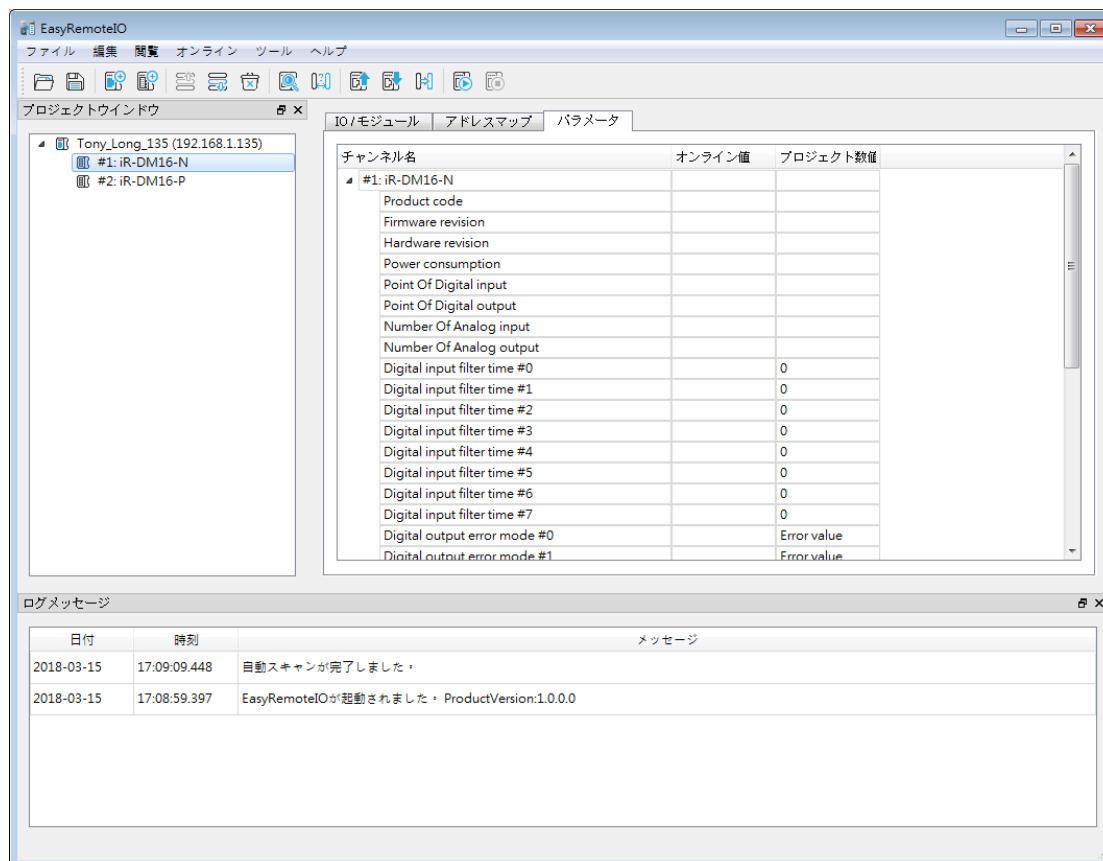
7. [アップロード]を選択し、iR-ETN からパラメータを読み取って EasyRemote I/O に表示させます。[ダウンロード]を選択し、変更したいパラメータを EasyRemote I/O から iR-ETN に書き込みます。



8. プロジェクトウィンドウで iR-ETN が接続しているモジュールを選択します。IO/Modules 欄では入力ビットと出力ビットの数値を読み取る/書き込むことができます。[ダウンロード]を選択し、EasyRemote I/O の数値を iR-ETN に書き込みます。



9. パラメータタブではモジュールのパラメータを変更できます。



3. 設定

編集

新規追加

ネットワークカプラ：手動でネットワークカプラを追加します。

モジュール：手動でモジュールを追加します。

オンライン

自動スキャン

同一ドメイン内にある全ての iR-ETN をスキャンします。

オフラインと照合する

EasyRemote I/O 欄で表示された装置が同一ドメイン内に存在するかを確認します。



ダウンロード

EasyRemote I/O の Project 数値を iR-ETN に書き込みます。

アップロード

iR-ETN から数値を読み取って EasyRemote I/O のオンライン欄に表示させます。

プロジェクトにコピーする

EasyRemote I/O 的線上数値與專案数値 iR-ETN から数値を読み取って

EasyRemote I/O のオンライン欄及びプロジェクト欄に表示させます。

IO / モジュール			
アドレスマップ			
パラメータ			
チャンネル名	タイプ	オンライン値	プロジェクト数値
▲ #2: iR-DM16-P			
Digital Input #0	DI		
Digital Input #1	DI		
Digital Input #2	DI		
Digital Input #3	DI		
Digital Input #4	DI		
Digital Input #5	DI		
Digital Input #6	DI		
Digital Input #7	DI		
Digital Output #0	DO		0
Digital Output #1	DO		0
Digital Output #2	DO		0
Digital Output #3	DO		0
Digital Output #4	DO		0
Digital Output #5	DO		0
Digital Output #6	DO		0
Digital Output #7	DO		0

スペシャルコマンド

Restart Device : iBus とモジュールを再起動します。

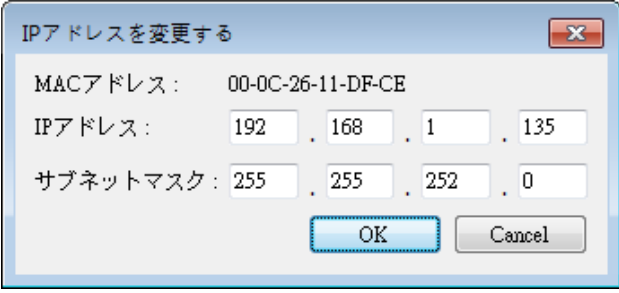
Restart iBus : iBus だけを再起動します。

Reset to default(except IP setting) : パラメータをデフォルト値に設定します。



IP アドレスを変更する

iR-ETN の IP アドレスを変更します。



IPアドレスを変更する

MACアドレス: 00-0C-26-11-DF-CE

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 135

サブネットマスク: 255 . 255 . 252 . 0

OK Cancel

監視を開始する

iR-ETN の監視を開始します(読み取り専用)。

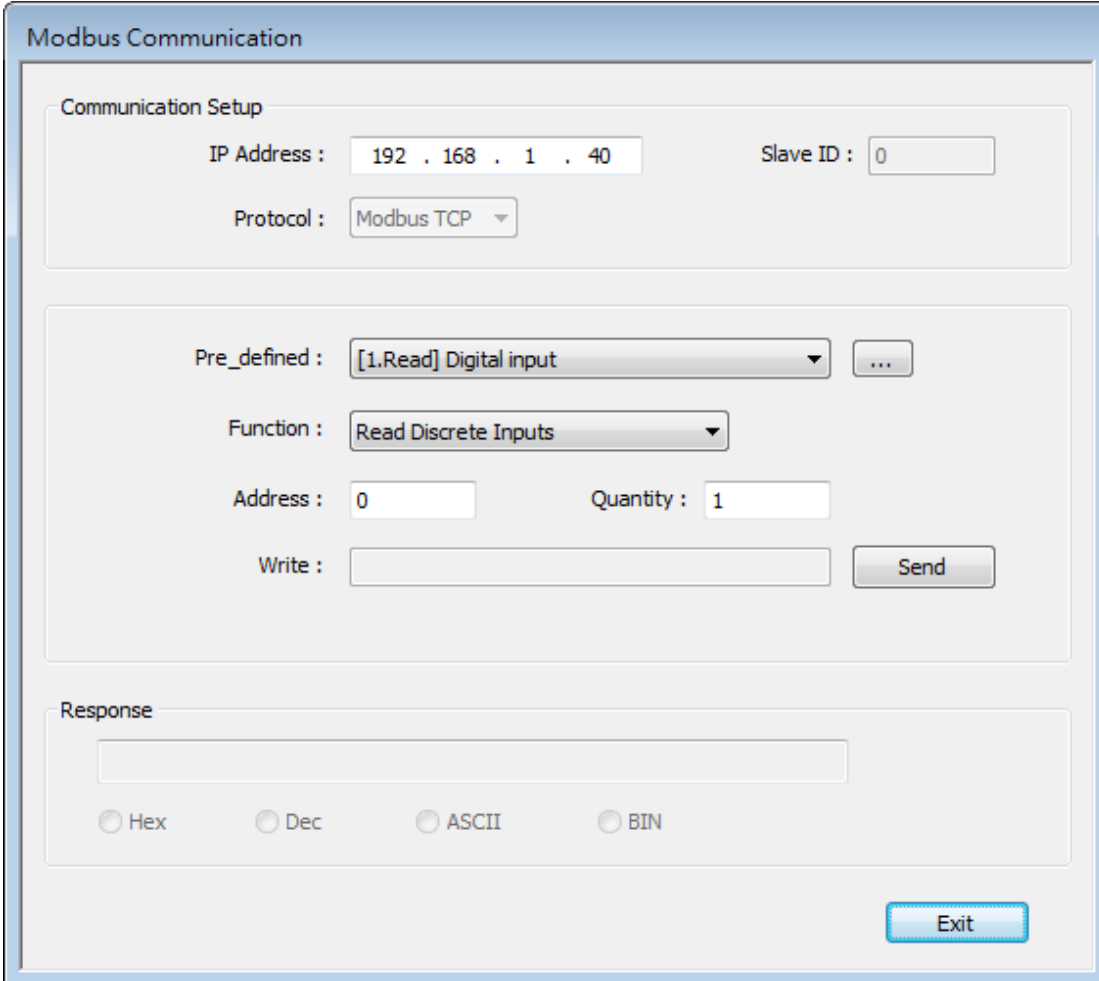
監視を停止する

監視を停止します。

ツール

Modbus

ユーザーが PC で MODBUS TCP/IP クライアントを実行することができるようにします。



Modbus Communication

Communication Setup

IP Address : 192 . 168 . 1 . 40 Slave ID : 0

Protocol : Modbus TCP

Pre_defined : [1.Read] Digital input

Function : Read Discrete Inputs

Address : 0 Quantity : 1

Write : Send

Response

Hex Dec ASCII BIN

Exit

4. アナログモジュール

チャンネル値の表示

チャンネル値は **IO/Modules** タブで表示されます。[監視を開始する]をクリックすると、現在のチャンネル値がここで表示されます。

IO / Modules Address Map Parameter			
Channel Name	Type	Online Value	Project Value
▼ #3: iR-AI04-VI			
Analog Input #0	AI	0	
Analog Input #1	AI	0	
Analog Input #2	AI	0	
Analog Input #3	AI	0	

チャンネル値の書き込み

チャンネル値は **IO/Modules** タブで表示されます。[監視を開始する]をクリックすると、現在のチャンネル値がここで表示されます。

[プロジェクト数値]で数値を入力してから、[ダウンロード]を押せば、[オンライン数値]が書き込まれます。

IO / Modules Address Map Parameter			
Channel Name	Type	Online Value	Project Value
▼ #2: iR-AQ04-VI			
Analog Output #0	AO	10000	10000
Analog Output #1	AO	0	0
Analog Output #2	AO	0	0
Analog Output #3	AO	0	0

チャンネルパラメータ設定

チャンネルパラメータは[パラメータ]タブで表示されます。[全てをアップロード]をクリックすると、現在のモジュール内のパラメータがここで表示されます。

IO / Modules Address Map Parameter			
Channel Name	Online Value		Project Value
▼ #3: iR-AI04-VI			
Product Code	0x0425		
Firmware Revision	1.0.0.0		
Hardware Revision	1.0.0.0		
Power Consumption	0.35 W		
Point of Digital Input	0		
Point of Digital Output	0		
Number of Analog Input	4		
Number of Analog Output	0		
Input Mode #0	Close		Close ▼
Input Mode #1	Close		Close ▼
Input Mode #2	Close		Close ▼
Input Mode #3	Close		Close ▼
Input Scale Range Upper Limit #0	32000		32000
Input Scale Range Upper Limit #1	32000		32000

パラメータを修正したい場合、[プロジェクト数値]でチャンネルパラメータを修正します。

IO / Modules Address Map Parameter		
Channel Name	Online Value	Project Value
▼ #3: iR-AI04-VI		
Product Code	0x0425	
Firmware Revision	1.0.0.0	
Hardware Revision	1.0.0.0	
Power Consumption	0.35 W	
Point of Digital Input	0	
Point of Digital Output	0	
Number of Analog Input	4	
Number of Analog Output	0	
Input Mode #0	Close	±10V
Input Mode #1	Close	Close
Input Mode #2	Close	Close
Input Mode #3	Close	Close
Input Scale Range Upper Limit #0	32000	32000
Input Scale Range Upper Limit #1	32000	32000

そして[ダウンロード]を押せば、[プロジェクト数値]は[オンライン数値]に書き込まれます。

IO / Modules Address Map Parameter		
Channel Name	Online Value	Project Value
▼ #3: iR-AI04-VI		
Product Code	0x0425	
Firmware Revision	1.0.0.0	
Hardware Revision	1.0.0.0	
Power Consumption	0.35 W	
Point of Digital Input	0	
Point of Digital Output	0	
Number of Analog Input	4	
Number of Analog Output	0	
Input Mode #0	±10V	±10V
Input Mode #1	Close	Close
Input Mode #2	Close	Close
Input Mode #3	Close	Close
Input Scale Range Upper Limit #0	32000	32000
Input Scale Range Upper Limit #1	32000	32000

※チャンネルパラメータの詳細に関して、
 “UM018013J_iR-Axxx-VI_UserManual_20190401_jpn”マニュアルの第6章をご参照ください。

※アナログモジュールのパラメータは全部アナログモジュールの内部レジスタに書き込まれます。よりまして、モジュールを装置に取り付ける前に、事前に EasyRemoteIO でパラメータを設定してから取り付けても良いです。

モジュールの初期化

[オンライン] » [スペシャルコマンド]

初期化させたいアナログモジュールを選択し、そして[送信]をクリックすれば、当該モジュールが工場出荷時の設定に復元されます。

